

皆様新年あけましておめでとうございます。

その年の最初の年中行事である『年頭式』が行われ、グループ職員約200名が参加いたしました。

開式の辞に続きましては、昨年1年間で最もグループに貢献した部署に記念の盾が送られる表彰式があり、今回はハートランドしぎさん作業療法部が選ばれました。参加者一同が見守る中、理事長より記念品を受け取る作業療法室長の背中が誇らしげに見えました。



表彰に続きございました、理事長 竹林由浩の年頭挨拶を下記にお知らせいたします。

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

わたくしにとりましても、ちょうど1年前にこの信貴山病院の理事長に就任いたしまして、無事に新しい年を迎えることができ、皆様に感謝しお礼を申し上げます。



さて、本年も当院では多くの新しい取り組みを行ってまいります。4月には「大人と子供の発達センター」もスタートいたします。

病院や医療人というのは毎年変わっていかねばいけないものだと思います。もちろん医学の進歩についていくというのは当たり前のことですが、それ以外に、地域の医療情勢に応じて変わっていかねばいけないと思います。

去年病院に求められていたことと今年求められることはやはり変わっていくものと思います。入院患者様や外来患者様を見ても分かるように、年齢層や病名、うったえやご家族の悩みなどもこの数年で大きく変わってきています。

昨年、色々な方から「信貴山病院は良い病院ですね」「上野病院は良い病院ですね」「スタッフも優しく親切で本当に来て良かったです」とお褒めのお言葉を頂きました。これもスタッフ皆さんのお陰だと思っています。

しかし、去年良い病院だったからといって今年も良い病院でいられるとは限りません。去年患者様を救えた知識や技術で今年も救えるとは限りません。去年信頼されていたスタッフが今年も信頼されるとは限らないわけです。それは医師である私にも言えることだと思っています。ですから、毎年変わるニーズに対応して、その時その年に応じた最良のサービスを提供できるよう振る舞っていきたいと思います。

ですから今年も気を緩めることなく業務に積極的に取り組んでいきたいと思っておりますので、今一度皆様にもご協力をお願いいたしまして新年のご挨拶と代えさせていただきます。

その後、全員で経営理念唱和、各部署からの今年の必達目標の発表と続き、閉式となりました。

参加者全員が気持ち新たに、今年1年間全力で業務にあたっていこう、患者様に向き合っていこうと意識統一できたことと思います。

